



令和8年5月22日

令和8年度 東京消防庁・板橋区合同総合水防訓練の実施について

台風や集中豪雨が多発する時季を前に、東京消防庁、水防管理団体及び関係機関が連携した訓練を実施します。訓練には、即応対処部隊、消防救助機動部隊、消防ヘリコプター等の消防部隊、志村・板橋消防団員、板橋区職員、地域住民など合計28機関、約600名が参加し、実戦的な訓練を通して、総合防災力の向上を図ります。

1 日時

令和8年5月30日（土）10時00分から11時30分まで
 （広報展示については10時00分から12時30分まで）
 当日のスケジュールについては別表参照

2 場所

板橋区舟渡三丁目20番地先 荒川右岸河川敷 荒川戸田橋野球場（別図第1参照）

3 点検者等

点検者	消防総監	市川 博三（いちかわ ひろみ）
	板橋区長	坂本 健（さかもと たけし）
統裁者	警防部長	山田 寿（やまだ ひさし）
	板橋区長	坂本 健（さかもと たけし）
指揮者	第十消防方面本部長	田中 智子（たなか ともこ）
	板橋区土木部長	宮津 毅（みやつ つよし）

4 参加人員等（予定）

東京消防庁	380名	板橋区	20名
板橋区内消防団	31名	板橋土木事業協同組合	10名
東京都立北豊島工科高等学校	20名	その他関係機関	約140名

合計 参加人員 28機関 約600名

5 参加車両等（予定）

消防車両	37台	
消防艇	2艇	
消防ヘリコプター	1機	
合計 参加車両等	40台	（当日の天候により変更になる可能性があります。）

6 訓練想定

大型で強い台風の影響により、荒川の氾濫危険が高まり、区内で道路冠水や家屋への浸水、都内の急傾斜地で土砂災害が発生した想定で訓練を実施します。

消防部隊をはじめとした防災機関は、川の氾濫を防ぐための活動、浸水した建物や土砂災害により倒壊した家屋、河川に流された要救助者の救出救助活動を展開します。（別図第2参照）

また、訓練には新型の車両や資器材を活用します。



救出救助車（道路啓開型）



四足歩行型検索ロボット



新型 VR 防災体験車

7 留意事項

- (1) 取材を希望する社は、5月29日（金）12時00分までに広報課報道係までご連絡ください。
- (2) 天候等の状況により訓練を中止する場合があります。当日6時00分までに決定し東京消防庁及び板橋区のホームページに掲載しますので、ご確認ください。
- (3) レクチャーは、9時30分から報道関係受付場所（別図第2参照）で行いますので、それまでに受付を済ませてください。
なお、報道関係受付場所で9時15分から受付を開始します。
- (4) 現場は消防隊、消防車両等が頻繁に往来するほか、ヘリコプター飛行時の風圧に伴う小石等の飛散の危険がありますのでヘルメットを持参し着用してください。
- (5) 取材時は必ず自社腕章を着用してください。
- (6) 訓練会場の駐車場はご利用できません。車両での来場はご遠慮ください。

問合せ先

〔 東京消防庁(代) 広報課報道係	電話 3212-2111
	内線 2345~2350

別図第1

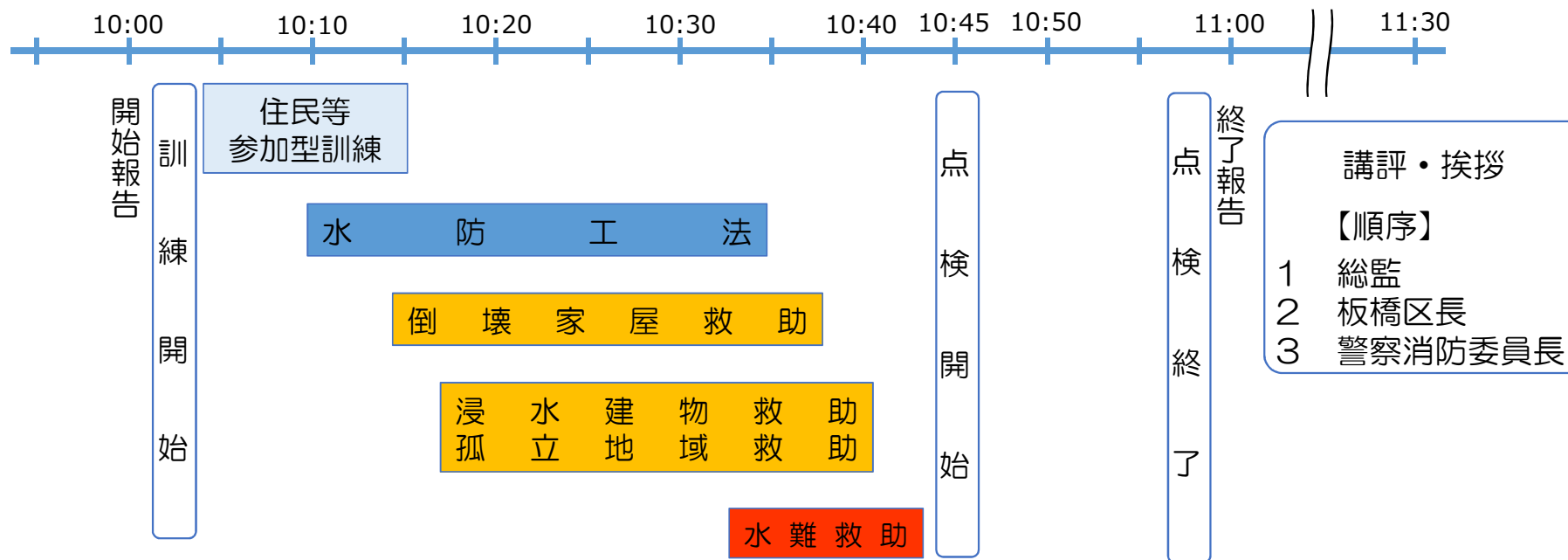


別図第2

水防訓練会場（全体イメージ図）



時系列



※ 広報体験コーナーは 10時00分から 12時30分まで開設